

# 自然の家だより

令和3年  
12月15日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email:gishizen@he.mirai.ne.jp URL: https://gikyobun.or.jp/gishizen/

## 華やかで、おめでたい!? お正月を飾る、赤い実の植物たち

お正月の飾りには、縁起のよい、おめでたい名前の方が好まれます。今回は、その縁起のよい物の中から、自然の家周辺で見ることのできる、華やかな赤い実をつける植物をいくつか紹介します。

## 「お金の額」が名前になった植物 ～マンリョウ・センリョウ・ジュウリョウ～



**マンリョウ (万両)**  
別名はアカギ。赤くきれいな実をつけるため観賞用に栽培され、花は7～8月頃に咲き、12月頃から実が赤くなります。葉は厚みがあり、周りが波打っています。



**センリョウ (千両)**  
別名はクササゴ(草珊瑚)。赤く美しい実をつけ、葉は周りがギザギザしています。マンリョウと違って葉は薄く、実が葉の上側になるので、すぐに鳥に食べられてしまいます。



**ジュウリョウ (十両)**  
別名はヤブコウジ(藪柑子)。落語「寿限無」の中にも、縁起物として出てきます。花は7～8月頃に咲き、マンリョウの実に似た赤くきれいな実をつけます。



**まめちしき**  
「両」は江戸時代のお金の単位。お米の値段で考えると、1両は約6万円くらいの金額です。左で紹介した3種類以外にヒヤクリョウ(百両)やイチリョウ(一両)と呼ばれる植物があります。最初に、「カラタチバナ」という植物がヒヤクリョウと呼ばれるようになりました。その後、ヒヤクリョウより背の高いクササゴをセンリョウ、逆に、背の低いヤブコウジをジュウリョウと呼ぶようになり、センリョウより実が大きく大きいアカギをマンリョウと呼ぶようになりました。

## ほかにもある縁起のよい植物たち



**ナン(難)よ テン(転)じて福となれ! ～ナンテン (南天)～**  
難が転じる、つまり「困難や不幸を変化させると幸せになる」ことにつながり、日本では縁起物として庭などに植えられることが多く、冬に赤い実をつけます。咳止めの効果があることから、薬用植物として、のどあめの材料にもなっています。



**苦労がなくお金持ちになれますように! ～クロガネモチ～**  
5～6月に花が咲き、秋に赤い実がたくさんあります。モチノキの仲間、枝などが黒みががっているため、この名前が付けました。クロガネモチが「苦労がない」、「金持ち」に通じることから、縁起物として好まれています。

このほかにも縁起物として飾られる植物はたくさんあります。その理由も調べてみるとおもしろいと思います。